



対特殊武器衛生隊

対特殊武器衛生隊は、陸上総隊隷下の衛生科部隊で、三宿駐屯地に所在しています。編成は、隊本部、本部付隊及び2個の対特殊武器治療隊、任務は生物剤の同定（病原体の種類・型を特定すること）及び感染患者の応急治療を実施する部隊です。

主要装備として、機動展開ができる「衛生検査ユニット」と「陰圧病室ユニット」を保有しています。

衛生検査ユニット



高度な微生物検査による病原体の同定を行う車両です。

陰圧病室ユニット



感染症患者（疑いを含む）の隔離収容及び治療を行う施設です。

自衛隊は、厚生労働省からの依頼で武漢に向かったチャーター便に看護官2名を派遣し、その後新型コロナウイルス感染症の拡大で、1月31日から3月16日の間、災害派遣活動を行いました。ダイヤモンド・プリンセス号での医療支援（診療・薬剤配布等）・下船支援及び輸送支援、宿泊施設における生活支援・健康相談、自衛隊病院等でPCR検査陽性者への対応等を行うとともに、自衛隊が保有しているマスクを供出しました。延べ4900人の自衛隊員が4都県で活動に従事しました。

対特殊武器衛生隊からも各種支援活動で隊員が活躍しました。



災害派遣に出発（1月31日）



支援物資の仕分け作業